



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



さの  
**佐野** あつし  
**孜** 議員  
(富岳会)

## 活力や観光資源の宝庫としての西富士山麓

**問** ①現存する観光施設の発展の指導や助言。これからのバイオマス発電施設のあり方。②英訳された北部地域の伝説(富士物語)の再考。

**部長** ①自然公園法に基づき自然環境を保全し、富士山西麓地域観光連絡会議の国内外へのセールスで観光振興と地域の発展と協調策を進める。現存のバイオマス発電施設の公売は不調に終わったが、実証実験のノウハウを2000トン規模の処理能力のバイオマスプラント事業に活かしたい。

**教育長** ②英訳された富士物語は内容を確認し、校長会等の所定の会議で検討する。

## 地域の中心になる白糸会館の建設計画と理念

**問** ①地域の象徴としての役割。②隣接する神代杉館に存在する神代杉の取扱い。

**部長** ①大空間の設置、気候・風土への配慮、施

設の長寿命化の観点から、鉄筋コンクリート造りとなり、内装は県内産の木材を使用する。外観は山々の連なりと白糸の滝をイメージした。

②全国的にも珍しく完全な形で発掘された樹齢606年の杉の巨木であり後世に残す方針で検討。

**市長** 白糸(神代杉)の歴史は富士宮の歴史として捉え展示方法や場所についても検討する。

## 子ども子育て支援事業と学校教育環境の整備

**問** ①新型コロナウイルスに対する放課後児童クラブや保育園、幼稚園、小中学校での対策。

②いじめ・不登校児童生徒に対する支援事業。

**教育長** ①学校保健安全法関係法令及び保育園における感染症対策ガイドラインに準拠し出席停止、臨時休業等の対応を実施予定。また、マスク、手洗い、うがい、噴霧器、加湿器の設置等感染予防に取り組み、国の最新情報にも注視。②青少年相談センター適応指導教室や富士市の一般社団法人サン・ヴィレッジ適応指導教室アルファードと連携し、学校復帰や社会復帰を目指す。



いなば こうじ  
**稲葉 晃司** 議員  
(蒼天)

## 富士宮市立病院の現状について ～地域医療を守るために2020～

**問** 令和2年度、常勤医が減少する内科、外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科ではどのような影響がでるのか。

**病院長** 耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科については、診療、病院の収益に関してはほとんど影響が出ないと考えている。ただ、消化器内科の医師が2人減となることについては影響がでると考えられることから、外来予約等の縮小も考えている。令和元年度、伊東市の胃カメラの健康診断を受け入れ収益増を図っているが、令和2年度は全体として少しマイナスになる可能性はある。外科についても乳腺を専門とする外科医が常勤から非常勤になることから診察する患者数が減少すると考えられる。

**問** 常勤医が増加する泌尿器科、整形外科、小児科、皮膚科はどのようになるのか。常勤医が増加することにより手術への対応等はどの程度改善されるのか。

**病院長** 泌尿器科は令和2年4月より医師が1人派遣されることから外来、手術ともに今まで以上に件数の増加が見込めると期待している。整形外科に派遣される医師は、育児中の女性医師であることから日勤帯のみの勤務となるが、手術に加えて外来や昼間の救急対応を行う人数が確保され、手術中のために受け入れが困難であった患者さんへの対応が可能となり、その分外来や手術の件数増を見込めると考えている。さらに、小児科は4人から5人体制、皮膚科は2人から3人体制になることから今まで以上に様々な症例に対応できると考えられ、特に皮膚科は形成外科を志している医師が赴任することから、従来の患者に加え、より多くの疾患の診察が可能になると期待できる。